

【新商品情報】デンソーセールス、モデルチェンジされたデンソー車載用プラズマクラスターイオン発生機を2月より発売

株式会社デンソーセールス(本社:東京都渋谷区、社長:藤井 俊彰)は、1月9日に株式会社デンソー(本社:愛知県刈谷市、社長:加藤 宣明)が発表した、モデルチェンジされたカップ型の車載用プラズマクラスターイオン発生機「プレミアムモデル」を2月2日から発売します。

今回のモデルチェンジでは、新たにPET立体花粉網を採用し、車室内に舞い込んだ約 $10\mu\text{m}$ 以上の花粉やホコリなどを約80%捕集する【注1】花粉キャッチフィルターを搭載しました。また、従来製品と同様に、標準モード(プラズマクラスターイオン濃度:25,000個/cm³)の約2倍のイオンを放出するターボモードを搭載しており、短時間の乗車時や、空気の汚れ、においが気になる時に効果を発揮します。

■製品の詳細:デンソーHP「車載用プラズマクラスターイオン発生機」

<http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/accessories/pci/index.html>



プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterは、シャープ株式会社の登録商標です。

<製品写真>



ブラック



ホワイト



ナチュラルピンク

<仕様>

形名	PCDNZ-BM2/PCDNZ-WM2/PCDNZ-PM2		
定格電圧	DC12V		
適用容積【注2】	約3.6m ³		
運転モード	「弱」	「標準」	「ターボ」
消費電力	1.2W	1.9W	3.8W
運転音【注3】	23dB	29dB	36dB
寸法	円筒形、上部直径76mm、下部直径65mm×高さ157mm (カーアダプターは除く)		
質量	約280g(カーアダプターは除く)		
付属品	専用カーアダプター(長さ1.5m)		
メーカー希望小売価格(税込)	オープン価格		

<高濃度プラズマクラスター25000で実証している効果>

・約6～10畳相当の試験空間におけるシャープ株式会社製プラズマクラスターイオン発生機(プラズマクラスターイオン濃度:25,000個/cm³)を用いた実証結果です。イオン濃度が同等であれば同様の効果が得られると考えられます。
 ・プラズマクラスターの効果は、使用場所の状況(温度・湿度、広さ、形状、エアコン・換気などの使用の有無、商品の設置場所など)や使い方(イオンの吹き出し方向・運転モード・運転時間など)、個人によって異なります。

- 当商品は、安定して高濃度プラズマクラスターイオンを放出するために、定期的にプラズマクラスターイオン発生ユニットの交換が必要です。総運転時間約17,500時間経過すると、ユニット交換ランプが点滅し交換時期をお知らせします。約19,000時間経過すると全ての運転が停止します。
- 家の中でご利用の場合は、別売のACアダプターが必要となります。
- 当商品は、DC12V/バッテリー使用の一般乗用車に対応しています。DC24V/バッテリー使用車(バス、トラックなど)には使用できません。

<注釈>

【注1】 シャープ株式会社調べ

【注2】 この商品を運転席横のカップホルダーを想定した位置に置いて風量「標準」時に空間の中央付近(床上から高さ0.5m)の地点で、空中に吹き出されるイオン個数が、約25,000個/cm³測定できる容積の目安です。

【注3】 製品の前方左右上面から1m地点の無響音室で測定した、4点平均の値です。

以上

販売に関するお問い合わせ

株式会社デンソーセールス 本社 自動車事業部
営業2室 本田 TEL: 03-5478-7786

報道に関するお問い合わせ

株式会社デンソーセールス 本社 経営企画部
経営企画室法務・広報課 中村
TEL: 03-6367-9663